

熊本県 道路かわら版 2024

※対象期間：2024年1月～12月

九州中央自動車道「山都中島西IC～山都通潤橋IC」間の開通



九州中央自動車道「山都中島西IC～山都通潤橋IC」間が令和6年2月11日に開通し、県内の幹線道路ネットワークの構築に向け、大きく前進しました。また、令和5年9月に国宝指定された「通潤橋」をはじめ多くの観光資源を有しており、交流人口の拡大による沿線地域の活性化が期待されます。

令和6年（2024年）12月27日
道路整備課・道路保全課・都市計画課

**国道325号(菊池拡幅)
4車線化整備事業 開通【菊池市】**



国道325号(菊池拡幅)について、バイパス区間を含む約1.5km(菊池市大琳寺から森北間)を3月に供用開始しました。

本事業区間の供用により、安全で円滑な交通の確保、広域観光ルートとしての役割、沿線の企業活動の支援や企業立地の促進、産業振興に寄与することが期待されます。

**国道389号(下田南バイパス)
「小田床トンネル」開通【天草市】**



国道389号(下田南バイパス)について、小田床トンネル(約0.4km)が7月に開通しました。

世界文化遺産の「崎津教会」への主要なアクセス道路として利用されている路線ですが、線形不良、幅員狭小のため、車両のすれ違いが困難な区間もありました。

下田南バイパスの一部である小田床トンネルが開通したことで、大型観光バスの通行の安全性向上に加え、「崎津教会」へのアクセス向上等の効果が期待されます。

今年の主な出来事・供用箇所

令和6年(2024年)1月~12月



(一) 北里宮原線「北里工区」開通【小国町】



(一) 北里宮原線(北里工区)について、改良区間(約100m)が5月に供用開始しました。

本事業区間の供用により、通行の安全性向上に加え、「北里柴三郎記念館」等の近隣観光施設へのアクセス向上等の効果が期待されます。

国道388号「湯山峠工区」開通【水上村】



国道388号(湯山峠工区)について、改良区間(約2.4km)が5月に開通しました。

湯山峠付近は、地形が急峻で道路幅が狭く、カーブが連続する区間でした。

本事業区間の供用により、人吉・球磨地域と宮崎県の椎葉村を結ぶ生活の基盤路線として利便性の向上に加え、「水上スカイヴィレッジ」へのアクセス向上等の効果が期待されます。

(主) 水俣田浦線 交通安全歩道設置【水俣市】



(主) 水俣田浦線(桜ヶ丘工区)について、歩道約115mを12月に供用開始しました。

本事業は交通安全未就学児対策として実施したもので、歩道の設置により、沿道の保育園に通う未就学児時の危険が回避され、安全が確保されることが期待されます。

令和2年7月豪雨からの復旧・復興

流失した球磨川橋梁の復旧工事推進



流失した球磨川橋梁10橋として初めて西瀬橋の復旧が完了し、令和5年2月に通行が可能になりました。残る9橋の復旧工事も着実に進んでいます。(写真:「坂本橋」(主)坂本人吉線)

平成28年熊本地震からの復旧・復興

(主) 熊本高森線((都)益城中央線ほか1線)4車線化事業



(主) 県道熊本高森線4車線化事業の0.8km(益城町広崎から益城町惣領)を4月に供用開始しました。

これにより、供用済区間は合わせて1.6kmとなり、交通量の多い本区間において、安全性や快適性の向上が期待されます。

その他にもいろいろありました…

◆熊本都市圏の渋滞対策

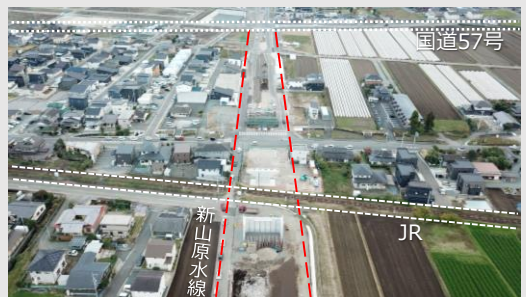
熊本都市圏の渋滞対策を迅速かつ強力に進めるため、6月に「渋滞解消推進本部」を設置。
12月には「熊本県・熊本市調整会議」において、『3年以内に30か所の交差点改良等を実施すること』『10年以内に主要渋滞箇所約80か所の改善に向け取り組むこと』等の具体策を公表しました。



渋滞解消推進本部 本部会議

◆半導体集積地周辺の道路整備

TSMC進出を契機とした半導体企業の集積に伴い、新たに発生する交通需要に対応するため、新山原水線のバイパスや大津植木線多車線化などセミコンテクノパーク周辺の道路整備を短期・集中的に進めています。



新山原水線 橋梁下部工 施工状況

◆幹線道路ネットワークの整備

有明海沿岸道路



県内初の事業区間となる荒尾道路(2.2km)の中心杭打ち式を2月12日に荒尾市で開催。

熊本天草幹線道路



宇土道路(6.7km)「糖塚山トンネル」の貫通式を7月21日に宇土市で開催。
また、本渡道路Ⅱ期(2.8km)の中心杭打ち式を12月1日に天草市で開催。



南九州西回り自動車道



熊本県側は八代JCT～水俣ICまでの約42.1km(84%)が供用済。芦北出水道路(水俣～県境)の橋梁工事が進捗。

中九州横断道路



熊本北～下硯川間(熊本環状連絡道路)(約4km)が2月に都市計画決定。
また、大津道路(4.8km)が新規事業化。

九州中央自動車道



山都中島西IC～山都通関橋IC間が2月11日に開通。

◆緊急輸送道路ネットワーク計画の改定及び道路啓開計画の策定

県では、地域防災計画等における防災拠点の見直しや、新規に整備された道路網を反映させ、3月に「熊本県緊急輸送道路ネットワーク計画」を改定しました。
本改定を踏まえ、大規模災害時に、必要最低限の瓦礫処理や放置車両の移動等を行い、救援・支援を行うルートを確認する道路啓開の手順・体制等を定めた「熊本県道路啓開計画」を12月に策定しました。

さてさて来年は…【R7年(2025年)の主な予定】

● (主) 水俣田浦線 (福浦3工区) 【津奈木町】	延長 約0.40km	R7春頃供用予定
● (主) 松島馬場線 (中野工区) 【天草市】	延長 約0.74km	R7冬頃供用予定
● (一) 仏原高森線 (仏原工区) 【山都町】	延長 約0.70km	R7冬頃供用予定
● (一) 御船甲佐線 (西原工区) 【御船町】	延長 約0.07km	R7冬頃供用予定
● (主) 大津植木線 (辻久保工区) 【合志市】	延長 約2.23km	R7年度供用予定